



DABBAWALAとは？

ダッバーワラーとは、インド西部の大都市ムンバイにて発祥し、約125年前から続いている配達サービスです。家庭で調理された料理を「ダッバー」という銀色の容器に入れ、それを「ワラー」が職場など指定された場所に午前中に運びます。利用者が食べ終わった午後、容器を回収し、今度はそれを配達を依頼した家庭に戻します。誤配率は1600万回に1回、誤出荷率は0.00034%以下という驚異的な精度を誇ります。



弁当箱
収集



仕分け &
担当分を
オフィスへ配達



食後
弁当箱を
回収



弁当箱
返却



夕方

ダッバーワラーがここまで利用されているのには、インドでは家で作った食事のニーズがあるという背景があります。インドの広大な国土には民族、宗教、文化の異なる人々が住んでいて、食事に対する要求がそれぞれ異なります。（約14億人の人口の中には何百という民族がいると言われています）

家庭の味を運ぶダッバーワラー



GINGERのインド弁当は4段のダッバーに、ビリヤニ、チャパティー、カレー3種と色々な味でインドを感じてもらえるように盛りだくさんの中身になっています！

ムンバイは大都市ゆえ、インド各地から人々が集まってきます。牛肉を食べないヒンズー教徒、豚肉に触れないイスラム教徒にはじまり、肉を食べない菜食主義者（ベジタリアン）とその反対の非菜食主義者（ノンベジタリアン）の区別は基本。「ノンベジ」でも、肉類は鳥肉やラム肉をどちらも食べる人、いずれかしか食べない人、卵だけしか、魚だけしか食べないという人もいます。ちなみに「ベジタリアン」でも、玉ねぎ、じゃがいも、にんにくなどの根菜を食べない厳格なジェーン教徒もいます。



インド映画の題材にもなっているのでよかったらご覧ください！
『Stanley Ka Dabba（邦題：スタンリーのお弁当箱）』（2011年製作）
『The Lunchbox（邦題：めぐり逢わせのお弁当）』（2013年製作）



究極の4段

DABBAWALA

インドのお弁当箱で食べる
インド弁当

4,400円(税込)【2名様セット】

1名様分も可 (2,200円)
内容量は半分になります



1段

インドの家庭の味。

チャパティとパンジャビラッチャパラッタ



2段

ビリヤニライスとチキンカレー
グリーンマンゴーのアチャールつき



3段

本日の野菜のドライカレー2種類



4段

本日のカレー

(ほうれん草カレーの日もあり)

デザート&ドリンク

インドのスイーツと本物のチャイ

世界一甘いスイーツとして話題



インド本物のチャイ



*お弁当は店内でお召し上がりください